

⑨主な意見・要望

事業主

- (要望)
- ・わかりやすい検診情報の提供
  - ・検診情報のより一層の発信
  - ・生活習慣病健診と5種類のがん検診のセット化
- (意見)
- ・「がんは不治の病」というイメージがまだ強い。啓発を行っていききたい。
  - ・受診しやすい環境を整えることが重要
  - ・女性特有のがん検診をどのようにしていくか、考える必要がある。
  - ・大病院に比べて、市町村検診は精度が低いと考えがち。この点を是正することが必要

従業員

- (要望)
- ・予約方法を簡易にしてほしい。
  - ・夜間検診、休日検診の実施
  - ・個人通知をしてほしい。
  - ・定期検診の際に、がん検診も受診できるようにしてほしい。
  - ・がん検診の義務化を
  - ・マスコミでもっと啓発を
  - ・禁煙対策の推進
- (意見)
- ・気になる症状がないので受けていない。
  - ・がんは遺伝性が高いのであまり関心がない。
  - ・いつ、どこで受けられるのかわからない。
  - ・検診の費用がわからない。
  - ・企業の検診と市町村の検診の違いがわからない。
  - ・退職後はどこで受けたらよいのかわからない。
  - ・妻(専業主婦)はどこで受けたらよいのかわからない。

山城地域 事業所におけるがん検診実態調査報告(概要版)

皆さまにご協力いただきました実態調査の結果と今後の取り組みについてまとめました。がんは働く世代の死亡原因の約半数を占めています。従業員の健康を守るため、当調査結果を参考にいただけたら幸いです。

1. 調査目的

働きざかり層のがん検診受診を促進させるための要因を明らかにして、今後の受診促進の取り組みにつなぐ。(H23.11)

2. 調査対象・方法・回収状況

【調査対象】  
京都下労働基準協会、京都南労働基準協会及び京都中小企業家同友会の加入事業所のうち、山城広域振興局管内の事業所の事業主及び従業員  
1事業所につき、事業主と40歳以上の従業員の 5~20名

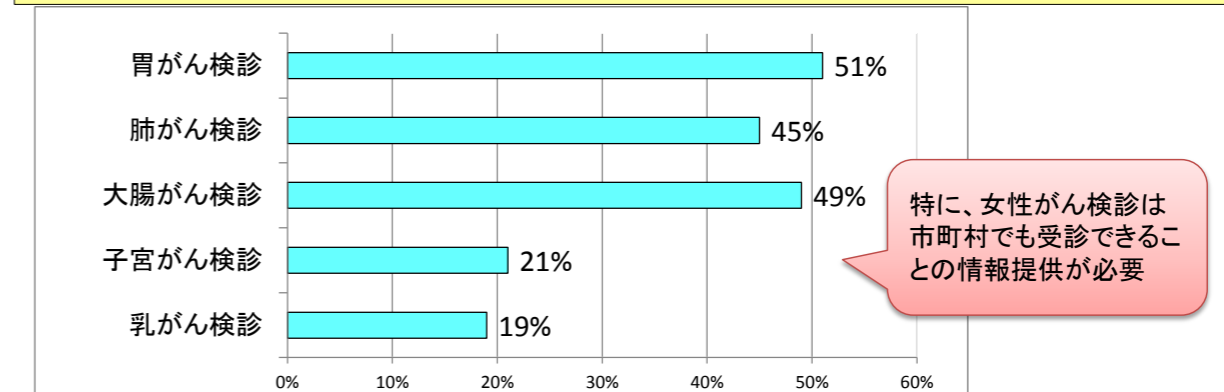
【調査方法・回収率】  
対象事業所に調査票を郵送し、回答者が返信用封筒により調査票を山城北保健所に郵送

	事業主	従業員
送付数	587名	4,775名
回収数	177名	1,267名
回収率	30.2%	26.5%

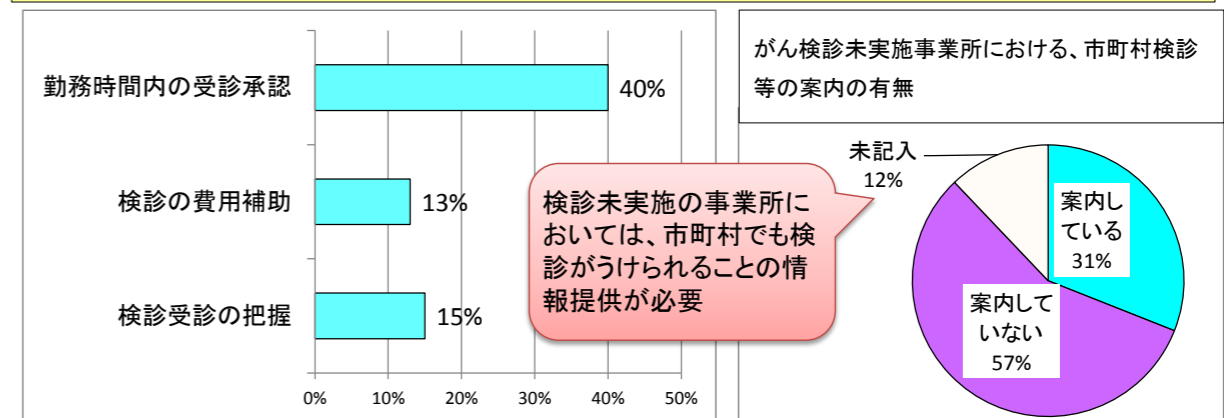
御協力ありがとうございました。

3. 調査結果

① 事業所のがん検診実施率は、胃・肺・大腸がん検診が約5割、子宮・乳がん(女性がん)検診が約2割



② がん検診は未実施でも、勤務時間内の受診承認・検診の費用補助など検診を受けやすくしている事業所がある。



4. この調査結果を踏まえ、保健所は以下のことに取組みます。  
→ 事業主の皆さま、従業員の方に「リーフレットの配布」や「がん検診案内」に御協力をお願いします。

- わかりやすいがん検診のリーフレットを作成して、事業所に配布します。
- 市町村の検診情報一覧を、保健所のホームページに掲載します。
- 事業主の皆さまを対象にがん検診セミナーを開催します。
- 事業所に出向いて健康出前講座を行います。
- 従業員の健康づくりに積極的に取り組まれる事業所を「やましろ健康事業所」として認定し、広く公表します。



詳しくは [こちら](#) → \* ホームページ 京都府山城振興局 > 健康福祉部(保健所) > やましろ健康事業所認定制度

お問い合わせ先 京都府山城広域振興局健康福祉部  
 ・乙訓保健所(保健室) ・山城北保健所(保健室) ・山城南保健所(保健室)  
 TEL 075-933-1153 0774-21-2192 0774-72-0981

「事業所連携によるがん検診受診促進検討会」で、働きざかり層の受診しやすいがん検診のあり方について検討しています。本調査も、この検討会で実施しました。

<構成団体>  
 京都大学大学院医学研究科、乙訓医師会、宇治久世医師会、綴喜医師会、相楽医師会、宇治徳洲会病院、田辺中央病院、京都予防医学センター、京都工場保健会、全国健康保険協会京都府支部、市町村代表(向日市、宇治市、京田辺市、精華町)、京都下労働基準協会、京都南労働基準協会、京都中小企業家同友会、商工会代表(向日市商工会、京田辺市商工会、木津川市木津町商工会)、事業所代表((株)スリーエスフーズ、(株)谷テック)、京都府山城広域振興局